

● Photo sketch ●



10/29
30

“どえらあええ”焼きものに出会う

今年で20回目となる「下石どえらあええ陶器まつり」が2日間にわたり開催され、市内外から訪れた多くの来場者でにぎわいました。煙突のある町並みをのんびり散歩する「窯元めぐり」や、即興ピアニストと陶工との競演「陶芸ライブ」、普段工場で使う運搬用の板に、窯元自慢の製品や一点物の製品を並べた「窯元もろ板陶器市」、[絵付け体験]や「ちびっこねんど広場」など、各ブースがお祭りを大いに盛り上げ、来場者は秋の風情漂う焼きものの町を存分に楽しんでいました。



11/4

上手に焼けるかな？

土岐津町の花園保育園で、地元の陶芸家や陶磁器業界の関係者らの協力のもと、陶器や土の素晴らしさ、作陶の楽しさを知ってもらうため、「野焼き」が行われ、園児や保護者など約180人が参加しました。この日のために園児らは自由遊びの時間を使って、3歳児は口ウソクが置ける手形プレート、4・5歳児はランプシェードを作りました。安全を祈願し、わらやもみ殻で組んだ山に火を入れ、全員で野焼きを楽しみました。園児らは「上手に焼けたら良いな、とても楽しみ」と笑顔いっぱい話していました。



11/12

私たちの土岐川を美しく

土岐川中央橋付近の河川敷を中心とする清掃ボランティア活動「川と海のクリーン大作戦」が行われ、一般市民や市内の各種団体・企業などから約120人が参加しました。今年9月の大雨に伴う増水により、上流から流されてきたごみが木に絡まるなど、河川敷は一部荒れた様子でしたが、参加者らは協力し合いながら約1時間にわたる清掃活動に汗を流しました。



11/12

土岐市の魅力を再発見！

今年度、第1回目の「ふるさと再発見！講座」が土岐津町の高山区民会館で開催され、約70人が参加しました。これは市の歴史や文化を楽しく知ってもらうことを目的に、「土岐市をカンコウする会」が行う講座で、今年度はあと2回開催される予定です。参加者らは、約1時間の講義を受けた後、南宮神社、穴弘法、高山城跡の順に徒歩で移動。それぞれ現地で講師から説明を受け、下街道沿いの歴史を中心に学びました。



10/23

自分の健康は自分で守ろう

今年で42回目となる「健康を守る市民の集い」がセラトピア土岐で開催されました。会場では、食生活改善や救急指導、大腸がん予防、各種測定(骨密度・脳年齢・記憶力・体力・脚筋力など)など18種類のコーナーが設置され、来場者は自分の健康状態を確かめたり、指導員のアドバイスに熱心に耳を傾けていました。



また、80歳以上で自分の歯が20本以上ある方を表彰する「8020表彰」では69の方が表彰されたほか、健康をテーマにした「小学生ポスター・絵画表彰」では市内の小学生から97点の応募があり、市長賞や議長賞、金・銀・銅賞などの各受賞者に表彰状が手渡されました。

今年は、素敵な景品がプレゼントされるスタンプラリー「健康とき21」も行われ、詰めかけた多くの市民らでにぎわいました。



10/29

スポーツしながら秋の行楽

昨年に引き続き土岐市で2回目となるスポーツイベント「フォトリゲニングNIPPON」がテラスゲート土岐をスタート・ゴール地点として開催されました。今回は、東京都や埼玉県など県内外から211人78チームが参加しました。

ルールは、地図をもとに市内全域に設置されたチェックポイントを時間内に回り、記念写真を撮ることで得られる点数の合計を競うものです。制限時間は3時間と5時間があり、参加者はグループで最後まで走り続けたり、観光名所をじっくり楽しんだりと思いつきに土岐市を満喫していました。1位のチームはどんぶり会館や穴弘法など35カ所を回ったとのこと。

